

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2003-528650

(P2003-528650A)

(43) 公表日 平成15年9月30日 (2003.9.30)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マコト* (参考)
A 6 1 F 13/49		A 4 1 B 9/02	P 3 B 0 2 8
A 4 1 B 9/02		9/12	E 3 B 0 2 9
9/12		A 6 1 F 5/44	H 4 C 0 9 8
A 6 1 F 5/44		A 4 1 B 13/02	H
13/15			U
審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 36 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2001-517993(P2001-517993)  
 (86) (22) 出願日 平成12年8月23日 (2000.8.23)  
 (85) 翻訳文提出日 平成14年2月20日 (2002.2.20)  
 (86) 国際出願番号 PCT/US00/23093  
 (87) 国際公開番号 WO01/013851  
 (87) 国際公開日 平成13年3月1日 (2001.3.1)  
 (31) 優先権主張番号 60/150, 258  
 (32) 優先日 平成11年8月23日 (1999.8.23)  
 (33) 優先権主張国 米国 (US)  
 (31) 優先権主張番号 09/637, 423  
 (32) 優先日 平成12年8月11日 (2000.8.11)  
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 キンバリー クラーク ワールドワイド  
 インコーポレイテッド  
 アメリカ合衆国 ウィスコンシン州  
 54956 ニーナ ノース レイク ストリ  
 ート 401  
 (72) 発明者 ブルーマー プレスリー メアリー アン  
 アメリカ合衆国 ウィスコンシン州  
 54911 アップルトン イースト パーシ  
 ング ストリート 418  
 (74) 代理人 弁理士 中村 稔 (外9名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 再装着可能な吸収体物品

(57) 【要約】

再装着可能な機構を備えた吸収体物品が開示される。吸収体物品は、前部と、背部と、股部とを含む。股部は、前部を背部に接合する。背部は、第1端と、第2端と、第1および第2側縁とを含む。背部は、第1区域と、第2区域とに分けられる。第1区域は、少なくとも一方向において伸張可能であり、背部の第1端からこれと平行に引かれた線まで垂直に測定された長さ $L_1$ を有する。第2区域は、背部の第2端から第1端と平行に引かれた線まで垂直に測定された長さ $L_2$ を有し、これにより約0.1から約2までの範囲の比 $L_1/L_2$ が定められる。第1および第2ファスナは、背部の第1および第2側縁のうち一方に隣接して配置され固定されており、これに固定される。吸収体物品は更に、前部、背部、又は股部のうち少なくとも1つに固定される吸収体を含む。第1および第2ファスナの各々は、ウエスト開口部と一対の脚開口部とを有するパンツ状物品を形成するように、前部に取り外し可能に取り付けられる。

